

麦作ごよみ

◎安定多収栽培の7つのポイント

- ①土づくり ②排水対策 ③適期播種 ④適量施肥 ⑤雑草防除 ⑥麦踏み・土入れ ⑦赤かび病防除

月	旬	生育	主な作業	内容																																				
10	中	下	★土づくり	<p>1. 土づくり</p> <p>①麦の適正pHは6.0~6.5です。麦の播種前に土壌診断を実施して、pHが6.0以下の場合は石灰、ミネラルG等を散布しましょう。特に、大麦のは場で酸性障害が増えています。</p> <p>・散布量：ミネラルG 140~200kg/10a 又は 細粒苦土石灰 100~180kg/10a</p> <p>②地力維持のため、稲わらの全量すき込み、堆肥の散布に努めましょう。</p> <p>・堆肥施用 1~2 t / 10 a</p>																																				
	下		★土壌改良剤の散布 ★排水溝の設置																																					
11	上	中	★種子消毒	<p>2. 排水対策 暗きょ排水（本暗きょ、弾丸暗きょ）と表面排水（周囲溝、畦立）を組み合わせ排水対策を行いましょう！</p> <p>・麦は漏水を受けやすいので、排水対策を徹底してください！！</p> <p>①弾丸暗きょ、排水溝（周囲溝）を設置しましょう。</p> <p>②降雨後速やかにば場外に、水が流れ出るように、うね溝と排水溝をつなぎましょう。</p> <p>③畝立播種も有効な排水対策となります。</p>																																				
	中		★基肥 ★播種																																					
12	上	中	★除草剤の散布	<p>3. 播種時期と播種量 (10a当り)</p> <table border="1"> <tr> <th>品種名</th> <th colspan="3">播種時期別播種量</th> <th colspan="5">※品種特性（播種日は11月25日前後）</th> </tr> <tr> <td></td> <td>11月10~19日</td> <td>20~30日(適期)</td> <td>12月1~10日</td> <th>品種名</th> <th>出穂期</th> <th>成熟期</th> <th>稈長</th> <th>耐倒伏性</th> </tr> <tr> <td>はるか二条</td> <td>—</td> <td>6~8kg</td> <td>8~10kg</td> <td>はるか二条</td> <td>4月7日</td> <td>5月22日</td> <td>79cm</td> <td>強</td> </tr> <tr> <td>チクゴイスミ</td> <td>4~5kg</td> <td>6~8kg</td> <td>8~9kg</td> <td>チクゴイスミ</td> <td>4月12日</td> <td>6月1日</td> <td>88cm</td> <td>やや強</td> </tr> </table> <p>※目標出芽本数は100~150本/m²</p> <p>※早播は品質低下や凍霜害の原因となりますので適期播種を行いましょう</p>	品種名	播種時期別播種量			※品種特性（播種日は11月25日前後）						11月10~19日	20~30日(適期)	12月1~10日	品種名	出穂期	成熟期	稈長	耐倒伏性	はるか二条	—	6~8kg	8~10kg	はるか二条	4月7日	5月22日	79cm	強	チクゴイスミ	4~5kg	6~8kg	8~9kg	チクゴイスミ	4月12日	6月1日	88cm	やや強
	品種名		播種時期別播種量			※品種特性（播種日は11月25日前後）																																		
	11月10~19日	20~30日(適期)	12月1~10日	品種名	出穂期	成熟期	稈長	耐倒伏性																																
はるか二条	—	6~8kg	8~10kg	はるか二条	4月7日	5月22日	79cm	強																																
チクゴイスミ	4~5kg	6~8kg	8~9kg	チクゴイスミ	4月12日	6月1日	88cm	やや強																																
下	下	★土入れ ・麦踏み	<p>4. 施肥基準 (10a当り)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">品種名</th> <th rowspan="2">基肥</th> <th colspan="2">1月下旬~2月上旬</th> <th colspan="2">3月上旬</th> </tr> <tr> <th>分げつ肥</th> <th>穂肥</th> <th>穂肥</th> <th>穂肥</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">はるか二条</td> <td>ベスト444</td> <td>ベスト444</td> <td>ベスト444</td> <td>ベスト444</td> <td>ベスト444</td> </tr> <tr> <td>45kg</td> <td>25~30kg 又はNK2号 20~25kg</td> <td>20kg 又はNK2号 15kg</td> <td>20kg 又はNK2号 15kg</td> <td>20kg 又はNK2号 15kg</td> </tr> </table> <p>※大豆後作では、基肥量を20kg/10a</p> <p>○追肥一発肥料の場合 (10a当り)</p> <table border="1"> <tr> <th>品種名</th> <th>基肥</th> <th>1月下旬~2月上旬</th> <th>3月上旬</th> </tr> <tr> <td>はるか二条</td> <td>ベスト444</td> <td>麦追肥名人：30~35kg</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>チクゴイスミ</td> <td>45kg</td> <td>グッドIB407号：30kg</td> <td>—</td> </tr> </table>	品種名	基肥	1月下旬~2月上旬		3月上旬		分げつ肥	穂肥	穂肥	穂肥	はるか二条	ベスト444	ベスト444	ベスト444	ベスト444	ベスト444	45kg	25~30kg 又はNK2号 20~25kg	20kg 又はNK2号 15kg	20kg 又はNK2号 15kg	20kg 又はNK2号 15kg	品種名	基肥	1月下旬~2月上旬	3月上旬	はるか二条	ベスト444	麦追肥名人：30~35kg	—	チクゴイスミ	45kg	グッドIB407号：30kg	—				
品種名	基肥	1月下旬~2月上旬				3月上旬																																		
		分げつ肥	穂肥	穂肥	穂肥																																			
はるか二条	ベスト444	ベスト444	ベスト444	ベスト444	ベスト444																																			
	45kg	25~30kg 又はNK2号 20~25kg	20kg 又はNK2号 15kg	20kg 又はNK2号 15kg	20kg 又はNK2号 15kg																																			
品種名	基肥	1月下旬~2月上旬	3月上旬																																					
はるか二条	ベスト444	麦追肥名人：30~35kg	—																																					
チクゴイスミ	45kg	グッドIB407号：30kg	—																																					
1	上	中	★中期除草剤散布	<p>5. 病害虫対策</p> <p>○種子消毒</p> <table border="1"> <tr> <th>対象病害虫</th> <th>農薬名</th> <th>処理方法</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td>サビ病(小麦)</td> <td>カザールFS30</td> <td>塗抹処理(※混用不可)</td> <td>種子1kg当り 原液6ml</td> </tr> <tr> <td>網斑病(大麦)</td> <td>トリフミン水和剤</td> <td>種子重量の0.5%の粉衣</td> <td>種子10kgに 50g</td> </tr> </table> <p>※消毒手順は、カザールFS30→約10分間乾燥→トリフミン水和剤です</p> <p>○赤かび防除(2回防除) (10a当り)</p> <table border="1"> <tr> <th>薬剤名</th> <th>希釈倍率</th> <th>薬量</th> <th>使用量</th> <th>散布期限</th> <th>散布適期</th> </tr> <tr> <td>ワークアップ粉剤DL</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3kg</td> <td>収穫7日前まで</td> <td rowspan="3">小麦：開花期と、その7~10日後 大麦：穂揃期の10日後と、その7~10日後</td> </tr> <tr> <td>ワークアップフロアブル</td> <td>2000倍 ※3000倍</td> <td>75ml 50ml</td> <td>150l</td> <td>収穫7日前まで</td> </tr> <tr> <td>ミラピスフロアブル</td> <td>2000倍</td> <td>75ml</td> <td>150l</td> <td>小麦は収穫7日前まで、大麦は14日前まで</td> </tr> </table>	対象病害虫	農薬名	処理方法	使用量	サビ病(小麦)	カザールFS30	塗抹処理(※混用不可)	種子1kg当り 原液6ml	網斑病(大麦)	トリフミン水和剤	種子重量の0.5%の粉衣	種子10kgに 50g	薬剤名	希釈倍率	薬量	使用量	散布期限	散布適期	ワークアップ粉剤DL	—	—	3kg	収穫7日前まで	小麦：開花期と、その7~10日後 大麦：穂揃期の10日後と、その7~10日後	ワークアップフロアブル	2000倍 ※3000倍	75ml 50ml	150l	収穫7日前まで	ミラピスフロアブル	2000倍	75ml	150l	小麦は収穫7日前まで、大麦は14日前まで		
	対象病害虫		農薬名		処理方法	使用量																																		
サビ病(小麦)	カザールFS30	塗抹処理(※混用不可)	種子1kg当り 原液6ml																																					
網斑病(大麦)	トリフミン水和剤	種子重量の0.5%の粉衣	種子10kgに 50g																																					
薬剤名	希釈倍率	薬量	使用量	散布期限	散布適期																																			
ワークアップ粉剤DL	—	—	3kg	収穫7日前まで	小麦：開花期と、その7~10日後 大麦：穂揃期の10日後と、その7~10日後																																			
ワークアップフロアブル	2000倍 ※3000倍	75ml 50ml	150l	収穫7日前まで																																				
ミラピスフロアブル	2000倍	75ml	150l	小麦は収穫7日前まで、大麦は14日前まで																																				
中	下	★分けつ肥 ★土入れ ・麦踏み	<p>6. 麦踏み・土入れ</p> <p>①麦踏み(※必ずば場が乾燥した状態で実施しましょう)</p> <p>・12月下旬(本葉3~4葉)~2月中旬(節間伸長開始前まで)に、2~3回実施しましょう。</p> <p>効果：分けつの促進、倒伏防止など、特に、生育旺盛の場合効果が高いです。</p> <p>②土入れ</p> <p>◎「土入れの基準」3回程度</p> <table border="1"> <tr> <th>時期</th> <th>1月上 ~中旬</th> <th>2月上 ~中旬</th> <th>2月下 ~3月上旬</th> </tr> <tr> <td>麦の生育</td> <td>本葉3~4枚</td> <td>分けつ後期</td> <td>茎立ち期</td> </tr> <tr> <td>土入れの程度</td> <td>浅く</td> <td>順次深く</td> <td>順次深く</td> </tr> </table> <p>効果：倒伏防止、雑草防除、表面排水の対策。施肥後に実施すると、肥効が高まります。</p>	時期	1月上 ~中旬	2月上 ~中旬	2月下 ~3月上旬	麦の生育	本葉3~4枚	分けつ後期	茎立ち期	土入れの程度	浅く	順次深く	順次深く																									
時期	1月上 ~中旬	2月上 ~中旬	2月下 ~3月上旬																																					
麦の生育	本葉3~4枚	分けつ後期	茎立ち期																																					
土入れの程度	浅く	順次深く	順次深く																																					
2	上	中	★穂肥 ★土入れ	<p>7. 収穫</p> <p>☆収穫期の判定：茎葉及び穂首部分が黄化~白化し、粒は爪あとがわずかにつき(穀粒水分25%以内)、ほぼロウぐらいの固さになった時</p> <p>☆大麦の場合は、さらに、穂首が8割以上曲がったとき</p>																																				
	中		★排水溝の整備																																					
3	上	下	★赤かび病防除	<p>○除草剤</p> <p>①播種前~播種後出芽前 (10a当り)</p> <table border="1"> <tr> <th>除草剤名</th> <th>薬量</th> <th>希釈水量</th> <th>使用時期</th> </tr> <tr> <td>ハスタ液剤</td> <td>300~500ml</td> <td>100~150l</td> <td>播種前又は播種後出芽前</td> </tr> <tr> <td>ラウンドアップマックスロード</td> <td>200~500ml</td> <td>50~100l</td> <td>耕起前又は播種前まで、播種後出芽前</td> </tr> </table> <p>②播種直後~麦生育期 (10a当り)</p> <table border="1"> <tr> <th>除草剤名(乳剤)</th> <th>薬量</th> <th>希釈水量</th> <th>使用時期</th> </tr> <tr> <td>リバレーターフロアブル</td> <td>60~80ml ※大麦は60~70ml推奨</td> <td>100l</td> <td>播種後~麦3葉期 (イネ科雑草1葉期まで)</td> </tr> <tr> <td>ボクサー</td> <td>400~500ml</td> <td>70~100l</td> <td>播種後~大麦:2葉期まで、小麦:4葉期まで</td> </tr> </table>	除草剤名	薬量	希釈水量	使用時期	ハスタ液剤	300~500ml	100~150l	播種前又は播種後出芽前	ラウンドアップマックスロード	200~500ml	50~100l	耕起前又は播種前まで、播種後出芽前	除草剤名(乳剤)	薬量	希釈水量	使用時期	リバレーターフロアブル	60~80ml ※大麦は60~70ml推奨	100l	播種後~麦3葉期 (イネ科雑草1葉期まで)	ボクサー	400~500ml	70~100l	播種後~大麦:2葉期まで、小麦:4葉期まで												
	除草剤名		薬量		希釈水量	使用時期																																		
ハスタ液剤	300~500ml	100~150l	播種前又は播種後出芽前																																					
ラウンドアップマックスロード	200~500ml	50~100l	耕起前又は播種前まで、播種後出芽前																																					
除草剤名(乳剤)	薬量	希釈水量	使用時期																																					
リバレーターフロアブル	60~80ml ※大麦は60~70ml推奨	100l	播種後~麦3葉期 (イネ科雑草1葉期まで)																																					
ボクサー	400~500ml	70~100l	播種後~大麦:2葉期まで、小麦:4葉期まで																																					
中	上	★排水溝の整備	<p>③生育期 (10a当り)</p> <table border="1"> <tr> <th>除草剤名</th> <th>適用雑草</th> <th>薬量</th> <th>希釈水量</th> <th>回数</th> <th>使用時期</th> <th>留意事項</th> </tr> <tr> <td>ハーモニーDF</td> <td>一年生広葉雑草、スズメノテッポウ</td> <td>5~10g</td> <td>50~100l</td> <td>1回まで</td> <td>播種後~節間伸長前</td> <td>加ノガサ(3葉期まで)には麦1葉期~節間伸長前に10g/10a散布</td> </tr> <tr> <td>バサグラン液剤</td> <td>一年生広葉雑草</td> <td>100~200ml</td> <td>70~100l</td> <td>1回まで</td> <td>雑草3~6葉期(小麦:収穫45日前まで、大麦:収穫90日前まで)</td> <td>トゲミノキツネノボタン(ウマゼリ)に効果が高い</td> </tr> </table>	除草剤名	適用雑草	薬量	希釈水量	回数	使用時期	留意事項	ハーモニーDF	一年生広葉雑草、スズメノテッポウ	5~10g	50~100l	1回まで	播種後~節間伸長前	加ノガサ(3葉期まで)には麦1葉期~節間伸長前に10g/10a散布	バサグラン液剤	一年生広葉雑草	100~200ml	70~100l	1回まで	雑草3~6葉期(小麦:収穫45日前まで、大麦:収穫90日前まで)	トゲミノキツネノボタン(ウマゼリ)に効果が高い																
除草剤名	適用雑草	薬量	希釈水量	回数	使用時期	留意事項																																		
ハーモニーDF	一年生広葉雑草、スズメノテッポウ	5~10g	50~100l	1回まで	播種後~節間伸長前	加ノガサ(3葉期まで)には麦1葉期~節間伸長前に10g/10a散布																																		
バサグラン液剤	一年生広葉雑草	100~200ml	70~100l	1回まで	雑草3~6葉期(小麦:収穫45日前まで、大麦:収穫90日前まで)	トゲミノキツネノボタン(ウマゼリ)に効果が高い																																		
4	上	中	★排水溝の整備	<p>7. 収穫</p> <p>☆収穫期の判定：茎葉及び穂首部分が黄化~白化し、粒は爪あとがわずかにつき(穀粒水分25%以内)、ほぼロウぐらいの固さになった時</p> <p>☆大麦の場合は、さらに、穂首が8割以上曲がったとき</p>																																				
	中		★収穫																																					

☆赤かび病の防除は必ず2回実施しましょう！